

4.12. オンラインマニュアル -man コマンド-

コマンドによっては、コマンドごとに様々なオプションが存在します。また、その用法もコマンドによって違いがあるため、これらを全て覚えるのは非常に大変です。そのため、ほとんどのコマンドには**オンラインマニュアルページ**が用意されています。

オンラインマニュアルを参照するには `man` コマンドを使用します。参照したいコマンド名（や設定ファイル名）を引数として `man` コマンドを実行すると、そのコマンド（や設定ファイル名）のオンラインマニュアルが表示されます。

`man` コマンドが表示する内容は名前(NAME)、書式(SYNOPSIS)、説明(DESCRIPTION)、オプション(OPTION)、利用方法(USAGE)、環境変数(ENVIRONMENT)、関連項目(SEE ALSO)、バグ(BUGS)、著者(AUTHOR) などです。H を押すと、コマンドの一覧が表示されます。

`man` コマンドは内容によって次のように分類されています。

1. コマンド

一般に利用されるコマンド

2. システムコール

カーネルによって処理される関数

3. ライブラリコール

ライブラリ関数など

4. スペシャルファイル

`/dev` 以下にあるファイル

5. ファイルのフォーマットと規約

テキスト形式のファイルフォーマット

6. ゲーム

7. マクロパッケージと規約

ファイルシステムの配置、ネットワークプロトコル、文字コードなど

8. システム管理コマンド

`root` 権限で実行するコマンド

9. カーネルルーチン

この章の分類はページの先頭に、**コマンド名(章)** のように表示されます。関連項目の欄にも関連する単語と章番号が表示されます。

表示する内容を指定してマニュアルを表示するには、

man 章番号 コマンド名

とすることで表示する章を指定することができます。日本語の環境で日本語のマニュアルがインストールされているときは日本語で表示されます。